

総合的な診療能力を有する医師の養成について

資料 3 - 2

1 主旨

- 令和7年9月9日に開催した「令和7年度青森県地域医療維持確保に向けた医師派遣・配置調整会議」において、県内若手医師のアンケート結果等を踏まえ、三者（弘前大学・県病・県）で合意した方針（2頁参照）を踏まえ、総合的な診療能力を有する医師の養成にあたり、以下のとおりキャリア形成プログラムの修正を行い支援体制の整備をするもの。

2 基本方針の明記

- 対象医師の健全なキャリア形成に資するため、「総合的な診療能力のマインドを持った専門医」を養成することを基本方針とする旨明記。

3 総合的な診療能力養成の支援を行う地域総合診療センターについて

- 弘前大学地域卒医師及び自治医科大学卒医師は、地域医療支援センター分室（弘前大学）内に設置される地域総合診療センターの調整のもと、専門研修期間中に、一定期間地域に必要とされる医療機関に派遣し、総合的な診療能力を養うことを原則とする。
⇒ 国事業（総合診療医センター）等を活用し、地域卒等の従事要件に配慮した派遣調整に係る講座等との連絡調整や総合診療医の育成等を行う地域総合診療センターを大学に設置、三者が連携し、一定期間地域に必要とされる医療機関に派遣することにより、専門研修期間中に総合的な診療能力を養う方針であることを明記する。

4 地域卒等の従事要件に配慮した専門研修プログラムについて

- 各専門研修のプログラム責任者は、上記基本方針等に沿ったプログラムを作成することとし、専門研修のキャリアコーディネーターは、地域総合診療センターとの調整窓口としての役割を果たすことについて明記。
⇒ 専門研修に関する地域医療対策協議会における意見聴取の主旨（厚生労働省医事課長通知、3頁参照）に鑑み、地域卒等の従事要件に配慮した研修プログラムになるよう専門研修のキャリアコーディネーターは、地域総合診療センターとの調整窓口としての役割を果たす旨明記する。

県内若手医師アンケート結果を踏まえた今後の対応・方向性について

【アンケート結果の概要】

1

専門医を取得したいと考えている

2

将来のキャリアの不安を感じている
(出産・育児等ライフイベントなど)

3

地域枠・自治医はキャリアに不利と感じている
(県外でも経験を積みたい など)

4

相談したい相手に相談できていない

5

地域医療の充実に係る提案
(総合的に診療もできる医師を増やすため学生時からの教育強化など)

【今後の対応・方向性】

地域医療の維持確保を図りながら、専門医を取得できる環境を整備していく必要がある

ライフイベントに配慮したキャリア形成支援の推進が必要
(R7指導医ワークショップよりプログラムを拡充)

弘前大学地域枠卒医師が県外医療機関に勤務可能となる場合の取り扱いをキャリア形成プログラムに明記
(R7.2.20地域医療対策協議会)

各臨床研修病院等にキャリアコーディネーター(計18名)を配置(R7年2月)し、全県体制で支援

国事業(総合診療医センター)等を活用し、教育体制強化等を検討

医師の専門研修に関する協議について

【R7.7.7付け医政医発0707第9号厚生労働省医政局医事課長通知抜粋】

2. 都道府県における確認事項

都道府県は、機構及び基本領域学会から提供された情報について次の事項を確認する。

(1) 略

(2) 専門研修プログラムについて

①略

② 個別のプログラムの内容については、例えば、以下のように都道府県内の医師確保対策や偏在対策に資するものとなっていること。

- ・ プログラムの連携施設及びローテーションの設定並びに採用人数が都道府県の偏在対策に配慮したものであること。
- ・ プログラムの廃止がある場合は、それによって地域の医療提供体制に多大な影響を与えないこと。
- ・ 特定の地域や診療科において従事する医師を確保する観点から、地域枠等の従事要件に配慮した研修プログラムであること。